

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-6
居住環境づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

農村整備課長 廣川 正英

電話番号

0852-22-5176

事務事業の名称	農業集落排水事業	
目的	(1) 対象	農村住民
	(2) 意図	農業用水や公共水域の水質を保全し、安全で快適な生活環境を提供する
事業概要	・農業集落排水施設の整備事業（快適な農村生活環境とするため、農村住民の住居等に対し、農業集落排水施設の整備を行う）	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	農業集落排水施設による汚水処理整備の増加人口	目標値		0.0	369.0	369.0	369.0	人
	式・定義	計画期間中に農業集落排水事業により汚水処理施設が整備された処理人口の増加数の累計	取組目標値						
			実績値		0.0	369.0			
			達成率	-	-	100.0	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	108,466	136,470
うち一般財源 (千円)	1,434	2,054

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・平成29年度末の島根県汚水処理人口普及率は79.3%であり、農業集落排水事業はこのうちの12.6%を担っている。
- ・農業集落排水地区数では、計画した167地区の91%（153地区）が完了
- ・本事業を実施するための国交付金の要求額に対する充足率は、85%程度

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・計画どおり事業が進捗し、農村地域の生活環境の質の向上が図られた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・施設の老朽化は年々進行しており、対策が必要な処理場や管路施設は年々増加傾向にある。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・事業着手後、約30年が経過しすでに耐用年数を超過している施設もあるが、点検・診断や更新整備等が進んでいない。

③原因を解消するための「課題」

- ・点検、診断や更新整備に必要な予算の確保が課題。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・老朽化が進む施設の長寿命化等を効率的に推進するため、国に対して必要な交付金を安定的に確保するよう要望する。
- ・修繕・更新が必要な処理施設については、施設の機能診断を実施し、処理区の統合を含めた最適な修繕・更新計画を策定するように、施設の管理者である市町を指導する。